

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 15日

事業所名

ACE具志川校

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		十分なスペースが取れて、視覚も少なく児童の観察がしやすい。	
	2 職員の配置数は適切である	6		児童を個別で支援出来る子こども多く、手厚い支援が出来ている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	視覚で分かる表示を活用児童が活動に専念できる環境づくりを行っている	写真や絵カードを用いて、子どもが期待するような空間にしていく。 簡易ライトを増やす、蛍光灯の種類を変更するなど検討していく。 バリアフリー化に向け、各箇所に適した物を設置するなど段差を少なくしていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		換気、掃除を徹底している活動、寝室、倉庫など空間を分けて支援をしている	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		定期的に会議を設け、職員間で意見を出し合う事が出来ている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		適宜、連携する。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		月に1回事業所内研修を設け、様々な内容について学ぶ事が出来ている	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		本人、保護者、職員から見える様子を踏まえ、課題や支援方針を話し合って作成出来ている。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	外部のサービスを利用してアセスメントツールの活用方法など、研修を通して職員へ周知する。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	週単位でプログラムを作成し、活動内容は互いにアドバイスしている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		活動内容を曜日によって変更し、児童にあったプログラムを取り入れている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	日々のミーティングで役割の確認し、その都度職員間で連絡を取り合う事が出来ている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		気付いた点、気になる点や対応などが共有出来ている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		日々の記録を残すことで、振り返り、改善につなげている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		児童の成長過程によって、支援計画の見直しが出来ている。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	3		適宜、連携する。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6	対象児童がいない。	必要に応じて連携を図り、支援の質を向上させる。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6	対象児童がいない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1		連携を図り、円滑な移行を目指す。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	4		相談支援専門員を通して、連携を図る。
関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		6		外部委託の研修を計画する。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6		社内の事業所と連携を図りながら、交流できる場を設けていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		6		適宜、連携する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		互いに状況を把握し、統一した支援に繋げる事が出来ている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	4		日々の支援から児童への対応の共有を図りながら家族支援を行っていく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	2	しっかりと時間を設けて丁寧な説明が出来ている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	2	支援計画の同意を得て、家庭と統一した支援に繋げている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	家庭連携を図り、家族に寄り添う支援を心掛けている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		コロナ禍で家族との交流が難しかったので、今後は計画したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	公式LINEを活用し、活動の様子を保護者が見れるようにしている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		業務は事業所内で行い、個人情報は所定の場所に保管している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		コロナ禍で地域連携が図れなかつたので、今後は計画する。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		6		緊急時のマニュアル作成と定期的にそれを確認する機会を設ける
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		6		災害時のマニュアル作成と、職員、児童もスムーズに対応できるように日々の活動に想定した訓練を取り入れる
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5	1		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2		保護者との確認だけでなく、意思にも直接確認し、より専門的な指示を仰いでいく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		6		職員間で共有、振り返れるよう、報告と記録も残していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	事業所内で研修を設け、職員間で話し合うことが出来ている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。